

器具器械 18 血圧検査又は脈波検査用器具

電子非観血血圧計

テルモ電子血圧計P370

【禁忌・禁止】

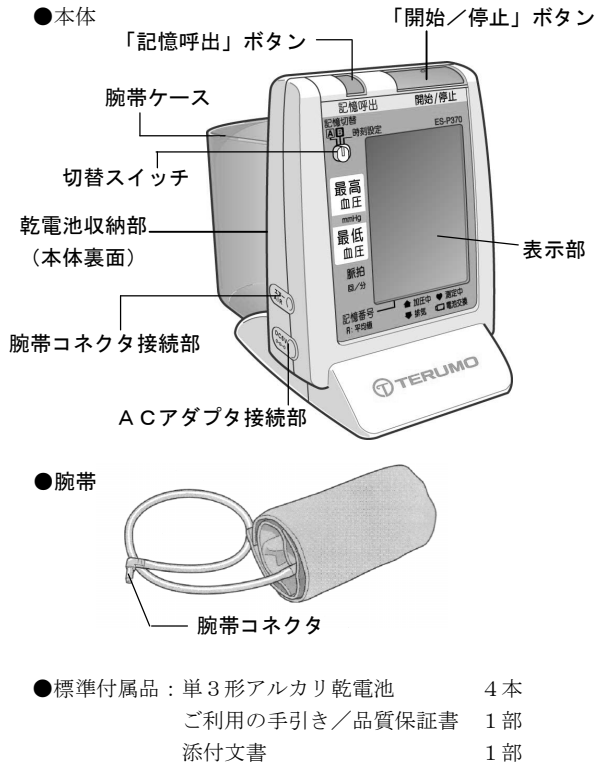
(血圧計を適正にご使用頂くための注意事項です。)

＜使用方法＞

- ・測定結果の自己診断、治療は行なわないでください。  
[自己診断、治療は危険です。気がかりな点がある場合は医師にご相談ください。薬の服用は医師の指示に従ってください。]
- ・けがや血行障害及び治療中の腕では測定しないでください。  
[症状が悪化するおそれがあります。]
- ・引火性のある環境では使用しないでください。  
[引火又は爆発を誘因するおそれがあります。]

【形状・構造等】

＜構造図＞



※本品はEMC規格 IEC60601-1-2:1993に適合しています。

【性能、使用目的、効能又は効果】

＜使用目的＞

人体の上腕部における血圧および脈拍数を測定する事ができます。

【仕様】

電 源：DC6V (単3形アルカリ乾電池4本)  
AC100V 50又は60Hz (別売ACアダプタ使用時)

消費電力：4W

電撃保護：内部電源機器及びクラスII機器、BF形

測定可能な腕周囲：約20～36cm

測定方式：オシロメトリック法

測定範囲：圧力 0～300mmHg

脈拍 40～160回/分

精 度：圧力 ±4mmHg 脈拍 ±5%

加圧方式：内蔵ポンプ

減圧方式：電子制御排気弁

表示方法：LCDデジタル

質 量：本体 355g (乾電池除く)、腕帯 約100g

外形寸法：本体 幅106×奥行169×高さ144mm

腕帯 幅134×長さ500mm (チューブを除く)

収縮時直径60～70mm

使用環境：温度 10～40℃

相対湿度 30～85%RH (但し、結露なきこと)

付加機能：オートパワーOFF機能、30回記憶・平均値

表示機能×2系統、時計表示機能

安全装置：1) 電池容量が不足すると乾電池交換マークを点滅し、測定を停止

2) 腕帯圧力が330mmHg以上加圧されると、表示器に“Err330”を点灯表示し、使用者に警告を発すると共に排気

【操作方法又は使用方法等 (用法・用量を含む)】

【測定方法】

1. 乾電池を入れます。
2. 腕帯コネクタを本体の腕帯コネクタ接続部に接続します。
3. 上腕部に腕帯をぴったりと巻き、正しい姿勢 (腕帯と心臓の高さが同じになる姿勢) にします。
4. 切替スイッチを記憶させたい方に切り替えます。
5. 「開始/停止」ボタンを押して電源を入れます (表示部の点検が終了後、自動的に加圧、減圧が行われます)。
6. 測定を途中で中止したいときは、「開始/停止」ボタンを押します。
7. 測定終了後、測定値を読み取ります。
8. 測定値を記録します。
9. 「開始/停止」ボタンを押して電源を切ります。
10. 腕帯を腕帯ケースに収納します。

＜使用方法に関連する使用上の注意＞

- ・安静な状態で、測定してください。
- ・正しい測定をするため、腕帯を巻く時は次の点に注意してください。
  - ・腕帯の向きはチューブが手先へ出る方向にする。
  - ・チューブの出口は腕の中心に合わせる。
  - ・腕帯はひじより2～3cm上に巻く。
  - ・腕帯は上着や厚手のシャツの上から巻かない。
  - ・まくり上げた袖で腕を圧迫しない。
- ・いつも同じ腕で手のひらを上に向けて測定してください。 [右腕と左腕では測定値に差が出ることがあります。]

ご利用の手引きを必ずご参照ください。

- ・騒音や振動がある場所や、寒い部屋では測定しないでください。  
[緊張感から血圧が高くなる場合があります。]
- ・腹部を圧迫した姿勢や、ひじを浮かせたり、ひじを極端に曲げた姿勢で測定しないでください。[正しく測定できません。]
- ・測定中に腕や体を動かさないでください。[エラーが表示されたり、再加圧することがあります。]
- ・連続測定により、うっ血した場合は、うっ血を取り除いてから測定してください。[測定値が変化することがあります。]
- ・手動加圧の場合、加圧を必要以上に高くしないでください。[腕に一過性の内出血を発生することがあります。]
- ・付加機能に関する【操作方法又は使用方法等】および【使用上の注意】については「ご利用の手引き」をご参照ください。

## 【使用上の注意】

### <重要な基本的注意>

- ・透析療法中、又は抗凝固剤、抗血小板剤、ステロイド剤等を使用している場合は、医師の指導にもとづいてご使用ください。  
[内出血を起こすおそれがあります。]
- ・不整脈のある方は、測定値に誤差を生じたり、測定できないことがあります。
- ・血圧測定の目的以外には使用しないでください。[故障や事故の原因となります。]
- ・子供だけで使わせたり、幼児の手の届くところで使わないでください。[けがのおそれがあります。]
- ・落とすなどの強いショックを与えないでください。[故障の原因となります。]
- ・強い静電気や電磁波に近づけないでください。[誤動作、故障の原因となります。]
- ・血圧計の近くで携帯電話を使用しないでください。[誤動作、故障の原因となります。]
- ・動かなくなったり、異常がある場合は、直ちに使用を中止してください。
- ・分解・修理・改造は行わないでください。
- ・破損したものは使用しないでください。[けがのおそれや、誤動作、故障の原因となります。]
- ・腕帯は付属された腕帯または別売の専用腕帯（テルモ電子血圧計P370用）を使用してください。
- ・乾電池交換マークが点滅したら、新品の同じ種類の単3形アルカリ乾電池を4本同時に交換してください。[古い乾電池を混ぜて使用すると乾電池が発熱し、故障の原因となります。]
- ・電池の交換はプラス、マイナスの向きを製品の表示に合わせて、マイナス側から入れてください。[電池の向きを間違えたり、マイナス側の電極パネを無理に曲げて入れると、乾電池が発熱し、故障の原因になります。]
- ・別売のテルモ電子血圧計専用ACアダプタ（テルモ電子血圧計P370用）以外のACアダプタを使用しないでください。また、専用ACアダプタを他の電気製品等に使用しないでください。[火災・感電のおそれがあります。]
- ・ACアダプタのコードやコネクタが傷んだり、コンセントの差し込みがゆるい時は使用しないでください。[感電やショート、発火の原因となります。]
- ・ACアダプタをコンセントから抜くときは、コードを引っ張らずに必ずACアダプタを持ってください。コネクタを本体から抜く時はコネクタを持ってください。[コードの破損により、感電・けがのおそれがあります。]

## 【作動・動作原理】

腕帯の圧力を最高血圧以上に加圧後、徐々に減圧すると、腕帯内圧力に心拍に同期した脈動現象が現れます。この脈動の出始めは小さく、減圧に従い大きくなり、やがて最大振幅を示した後、再び小さくなる山型のパターンになります。オシロメトリック方式の血圧計は、この脈動分の振幅波形情報をマイクロコンピュータで解析して最高血圧および最低血圧を決定しています。

## 【貯蔵・保管方法及び使用期間等】

### <貯蔵・保管方法>

- ・水ぬれに注意し、直射日光および高温多湿、ホコリを避けて、下記環境下で保管してください。

保存環境 温度：-20～60℃ 相対湿度：10～95%RH

(但し、結露なきこと)

### 【保管上の注意】

- ・腕帯を無理に折り曲げないでください。[変形や空気漏れ、エラーが起こることがあります。]
- ・長期間使用しないときは乾電池を外してください。ACアダプタ使用の場合はコンセントから抜いてください。[乾電池が液漏れし、故障の原因となります。ACアダプタの絶縁劣化により感電や漏電火災のおそれがあります。]

### <有効期間・使用の期限>

- ・4.5年（自己認証による）

## 【保守・点検に係る事項】

- ・本体が汚れたときは、中性洗剤を含ませた、よくしぼった布で拭き取ってください。

### 【清掃上の注意】

- ・本体、腕帯を水洗いしないでください。[故障の原因となります。]
- ・本体、腕帯チューブをアルコール、シンナー、ベンジンなどで拭かないでください。[故障の原因となります。]
- ・ACアダプタを水につけたり、水をかけたり、水洗いしないでください。[感電・ショートの原因となります。]
- ・清掃の際は、必ずACアダプタをコンセントから抜いてください。その際、濡れた手で抜き差ししないでください。[感電・けがの原因となります。]

## 【包装】

- ・1台/箱

## 【製造業者又は輸入販売業者の氏名又は名称及び住所等】

輸入販売業者：日本精密測器株式会社

住 所：群馬県北群馬郡持村中郷2508-13

電 話 番 号：0279-20-2311

輸 入 先：PT. NSS INDONESIA

国 名：インドネシア共和国

発 売 元：テルモ株式会社

住 所：東京都渋谷区幡ヶ谷2丁目4番1号

電 話 番 号：0120-00-8178（テルモ・コールセンター）

